（第二版）　（印刷一冊五厘九月九日第三種郵便物認可）　昭和十四年一月六日（金曜日）　臺灣日日新報　第一万三千九百三十八號　（一）

臺灣日日新報

本紙一部六錢（一ヶ月金壹圓五拾錢）　特別一行十五字壹圓五拾錢　同貳圓五拾錢　日本國內並滿支（郵稅共）ヶ月金七圓
廣告料　臺北二番　電話代表五八〇二番　編輯局五八〇三番　營業部五八〇四番　振替口座臺灣一〇番
本社臺北市表町二丁目二番地　社長兼發行人　木村佐一
臺北郵便局第一〇號特別取扱認可

畏くも天皇陛下 深更まで御精勵

御軍裝も解かせ給はず

【東京五日發同盟】近衛內閣が總辭職した四日、畏くも天皇陛下には軍務下に政局の混亂なる安定を望ませ給ふ大御心から深更まで御執務を續けさせられて開もなく閣僚の御參內を給ひ、次で近衛首相に對し後繼內閣組織に關し御下問を賜はり、更に御下問を拜し內閣に對しては御信賴の御詞

ケーブルとワイヤレス
新春閑話……(下)……戸水昇

如此きものが世界大戰以前の國際關係であつた、大戰前の世界の經濟的關係が如何に複雜であつたかは、今日の我々には容易に想像し得ないことである、殊に自由國際時代である、自由國際の下に於ては國土の大小といふことがその國の經濟的關係の複雜に關係しなかつた、現在上自由競爭が行はれ、その結果良い物が安く賣れば世界到る處その品を以て充たされるのである、世界大戰後の科學の進步、殊に航空用發動機の如き著しく改良發達せしめられた、元來資本主義經濟組織の內容は物が足りない、不足勝ちだつた、從つて生產を供給に追ひ付かせないといふ點に於て總ての經濟組織が出來てゐる、世界が非常な過剩生產になつて來たと云ふことは自分の市場を擴張しなければならない、世界は互に關稅障壁を設けて他を入れさせない、所謂ブロック經濟となつた、からなれば獨逸の如きは勿論イギリスと雖も從つて困つても現狀のブロックに滿足せざるを得ない、世界の一等國として仕方がない、世界の一等國として生きて行くには一等國として生きるだけの國土が必要である

世界が過剩自由からブロック經濟に移轉したから、第十五條にある通信に關する大國との關係なる問題でも日本は今迄の如く英國の海底電線に依存することが出來なくなつた、從つて日本は獨自に無線通信による獨逸、米國との直接通信に成功したのが一九二四年である、無線の出現により、各國が初めて海底線の低價なる英國の關絆から離脫する機會を捉へ得るに至つた、其後の米國獨逸の無線的研究、其施設なる英國の主座を拂ひ、海底線網に激烈なる無線となつたのである、更らに海底ケーブルの未だなし得ざるものは無線電話に關する研究であつて短波無線電話の發明により各國が競つて研究し、それを利用するに至つた、其後の米國獨逸の短波無線電信に成功したのが一九二四年である、短波の出現により、第十五條にある如く各國の關係は著しく變化をなすに至つた、從つて日本は獨自に無線電信による獨逸、米國との直接通信に成功したのは今世紀の初頭であつたが、其後の米國獨逸の短波無線電信に成功したのが一九二四年である、短波の出現により、各國が初めて海底線の低價なる英國の關絆から離脫する機會を捉へ得るに至つた

（第三種郵便物認可）　昭和十四年一月六日（金曜日）　新日本日報社　第一万三千九百二十八號　（三）

現地報告

16日刊増局時・秋春藝文

戰ふ軍醫

「西」會談座

出席者 中村孝雄 高橋保 川口四郎 大谷藤太郎 朝倉文夫 保良久 永田秀次郎 政治

支那共産軍の研究☆

支那紅軍

投降

支那共産軍の大西遷

角田次郎

石達開將軍

小田嶽夫

酒豪孫權

大場彌平

支那事變

時局漫画

麻生豊 石川進介 宍戸左行 提寒三 小野佐世男

滿洲の都市と農村

特價四十錢

廣東の唄こゑ

林柏生

海軍從軍報告

甲賀三郎

從軍小說 行軍

中谷孝雄

珠江の中の女

長谷川伸

故伍長北岡一角の手紙

藍の襟章

佐川英三

生き殘るの記

藤川忠治

漁業問題

日ソ戰の口火となるか

竹尾弌

第二の二國干渉

半谷外交の三歩

白鳥敏夫 岡崎勝男 ★診療室から觀た南京

★珠江の水軍

中村伸康

和田傳統帥

時局短評

拓かれゆく移民地

銃後生活再編成

加藤武雄

汎米會議の動き

チニス・コルシカ問題

ポーランドの動き

獨逸メーメルに進駐

獨佛の接近を繞る英國の對支援助の終る時

文藝春秋・時局増刊16日

藍の襟章・生き殘るの記

第二の二國干渉・半谷外交の三歩

銃後生活再編成・拓かれゆく移民地

戰ふ軍醫・「西」會談座

支那共産軍の研究☆・支那紅軍

支那事變・時局漫画・支那事變時局を憂ふ座談會

出席者 文博 白鳥庫吉 文博 市村瓚次郎 文博 飯島忠夫 文博 小柳司氣太 文博 和田清 文博 諸橋轍次 文博 高田眞治 竹田復 石田幹之助

廣東の唄こゑ・林柏生

海軍從軍報告・甲賀三郎

從軍小說 行軍・中谷孝雄

珠江の中の女・長谷川伸

故伍長北岡一角の手紙

藍の襟章・佐川英三

生き殘るの記・藤川忠治

漁業問題は日ソ戰の口火となるか・竹尾弌

第二の二國干渉・半谷外交の三歩・白鳥敏夫 岡崎勝男

★珠江の水軍・中村伸康

和田傳統帥・短評

拓かれゆく移民地・銃後生活再編成・加藤武雄

汎米會議の動き・

麗人荘

（禁上演）

竹田敏彦作

伊勢良夫畫

（171）

父と父（二）

父と父（二）

千賀子は何んしてゐるだらう？　遠に生きてゐるのかしら？　殺されはしまいか？　厚顔しい、子の可愛さに泣き縋れて、ここ十日餘り、五月に控る事業に手がつかず、今日も、夥の顧問弁護士に相談をもつたまま、深い憂ひに沈んでゐた。

「出掛けやうか知ら？」

「出掛けた刹那に、千賀子が帰つて来ないとも限らないし……」

「でも、あんな子供一人を、ようし、自由にさせないのですか」

顧問弁護士は、腕を組んだまま、ぢつと考へ込んでゐるらしい。

「いや、それで解決策がでてゐるんですが……」

「それは？」

「それで良策もございません」

「それで良策さん、何事の御用でせうか」

「それで良策さん、何事の御用でせうか」

「ねえ、あなた顧問弁護士をしてゐるんでせう？　もしもの子供達に方一のことがありましたら、私は生きてゐる空もありませんのに！」

もう何度目かに言ふ言葉には、かう当つて、顧問弁護士に訴へる顧問弁護士夫人だつた。

そこへ、今日も言葉が掛けてきた。良策は今度の事件には、夥から顧問弁護士に一切を一任して、私立探偵の方へ、関与を避けてゐるのである。

「おお、良策君か……」

「どうだね、何んの御用かね？　まだあのままかね」

「ええ、まだ申上ます。警察はかりでなく、私立探偵の方へも、関与を避けてゐるらしいんです。といふのは、身に覚えがある者としては、少し顧問弁護士の方へ、関与を避けてゐるらしいんです。といふのは、身に覚えがある者としては、少し顧問弁護士の方へ、関与を避けてゐるらしいんです。

「ふゝゝ、君の方が、訴訟に御自分にかゝりたいと仰言いましてある。

「あの、かういふ方が、訴訟に御自分にかゝりたいと仰言いまして」

女中が、一葉の名刺を差出した時である。

「ふゝゝ、君の

長期建設

2599

化學工業藥品一般
飲料
製菓 原料並香料

合名會社 清水商店

大阪市東區平野町壹丁目參番地

直輸出入商

電話北濱(23)〔長距離式壹壹〕
大阪(六)九四七九番
(シンヌ)六四八四四〇番
(ケミカル)七八式壹〇番

受信振替 大阪 六四七九番

王子製紙株式會社和紙臺灣代理店

印都・八景・輝日其他

和洋紙商 瀬川儀兵衛商店

大阪市東區安土町二丁目十三番地

受信昭號 オサカヒガシ・カミセカワ
發信昭號(セ)
電話本町 九七五・九七六番
振替口座 大阪一五三六番

昭和表紙
美人白雪
商標
專賣特許 サイト紙

諸紙・原料・輸出問屋

合田倉太郎商店

愛媛縣宇摩郡三島町

電話二二番

洋紙商

株式會社 岡本商店大阪支店

大阪市東區唐物町二丁目十五番地

東京 本店所 東京市日本橋區本町一丁目十二番地
札幌 出張所 札幌市南一條西四丁目五番地
福岡 事務所 福岡市宗良屋町二十五番地
上海 出張所 上海九江路六十九番地(住友ビル)
天津 駐在所 天津日本租界壽街十八番地

電話 (83)
長 2027
2028
2986
3853
3854
3855
3895
受信號 オウサカ センパ ゲンロク

株式會社 滿洲岡本洋紙店

奉天本店 奉天市加茂町二番地(三井ビル)
大連支店 大連市山縣通リ二番地(東拓ビル)
株式會社丸日洋紙店 名古屋市中區八百屋町二丁目

TYPE METAL

大阪アンチモン合金工業組合員

大阪市浪速區櫻川一丁目一〇四六番地

地金商 津田與三郎商店

電話 櫻川四八五番
振替口座 大阪一九九四五番

自宅 大阪市住吉區千躰町一〇番地
電話 住吉二八六六番

各製紙會社特約販賣店
日本クロス工業株式會社一手販賣

株式會社 博進社洋紙店

東京本店 東京市神田區駿河臺二丁目
大阪支店 大阪市東區瓦町二丁目
名古屋支店 名古屋市西區御幸本通五丁目
神戸支店 神戸市濱手區榮町通六丁目
福岡支店 福岡市博多行町
大連出張所 大連市山縣通十倉ビル

因州紙
輸出問屋

合資會社 山野商會

鳥取市智頭街道筋
電話二一・七一八番
工場 隣下邑郡智頭町西山字新紙所

優秀ナル
各種 欄罫製造
其他木製附屬品製作

在庫豊富
小賣ハ致シマセン

卸商 內田欄罫製作所

大阪市南區鹽町四丁目

電話 昭和(南)四〇〇壹番
振替口座大阪壹五四九〇番

高速度新聞インキ
昭和インキ製造株式會社

大阪市西淀川區佃町壹〇五六番地

電話福島弐九弐弐番

全國紡織會社製品特約店
全國人造絹糸會社製品特約店

綿糸綿布
人造絹糸
加工綿布
麻糸麻布

大阪市東區南本町二丁目

株式會社 豊島商店

電話 船場(ト)壹〇壹壹番
(ヌ)壹〇壹壹番
特長弐弐弐

謹祝長期建設新春

臺北市榮町四丁目四番地
株式會社 **賀田組**

臺北市榮町四丁目四番地
山陽木材防腐株式會社
臺北出張員 濱本勝美
高雄出張員 筒井出衛

臺北市京町三丁目四、五、六番地
株式會社 **高進商會**

臺北市本町一丁目
綿布毛織各種繊維物
株式會社 **日進商會**
電話弐参四四番
四参五壹番

臺北市本町二丁目
新舘謹次郎
電話七九二四番

臺北州臺北市榮町二丁目十番地
合資會社 **南國公司**
電話弐壹壹四番

臺北市本町四丁目
政岡運送店
電話弐弐五五番
政岡幸兵衛

臺北市北門町七番地
株式會社 **櫻井組**

臺北市榮町三ノ五
御菓子 **梅月堂**
電話 弐六四八番

各種機械製作
鉄銅鋳造チルド車輪鉛製品並ニ新舊中古工具金物賣買
金子工具部
工務部 陳子鑑
臺北市本町四丁目七番地
電話弐弐四〇番
臺北市京町四丁目六番地
電話五五四一〇番

官衙指定工場
陸船用發動機
其他諸機械
株式會社 **中田製作所**
臺北市幸町壹六四番地
電話弐九参四番

本年も不相變御引立の程願上ます
味の素
臺内各御用達
鈴木商店

きすやみの 福福力ゼ薬

元売
南門薬局
電話三五三六番四五九四番六二三四番

特製 **福福腸妙散**
強力胃腸治療剤

洋紙商 **同成商會**
臺北市本町二丁目九四番地
電話一八四ノ二〇〇五番

臺北材木商組合

今	力	伸	栄	利	三	天	合	〇	三	利	永	力	今	三
濱	龜	中	植	松	牧	惠	兒	櫻	井	比	玉	田	岡	松
崎	田	森	松	岡	玉	材	材	井	組	壽	材	材	材	材
材	材	材	材	材	材	木	木	材	木	商	木	木	木	木
木	木	木	木	木	木	店	店	臺北支部		會	店	店	店	店

臺北市太平町二丁目九四
林司法行政代書事務所
林文明

祝長期建設並新年
尚本年も不相變御愛顧の程
伏而御願申上候
臺北市榮町一ノ二〇
新高堂書店
電話 二二〇一番
五三三〇番

株式會社 **木下訓商行**
臺北市永樂町四丁目一番地
出張所 臺北市太平町二丁目一番地
支店 臺北市大正町一丁目一番地

靴鞄商 株式會社 **勝芳商行**
本社 臺北市太平町二丁目四九七番地
電話 大四七番
工場 臺北市太平町二丁目二〇番地
販賣店 臺北市下奎府町

看板店
臺北市太平町二丁七
臺北市永樂町四丁目一番地
張成福 裕成公司
電話 四一〇六・六二四八番

臺北市建成町二ノ一九八
臺北蓄電池工業所
自動車蓄電池 各種電機捲替修理
鑛山用蓄電池 自動車用部分品
電話 三〇四一番

臺北市大正町一隊通り
訓眉建業株式會社
電話 四九二〇番

臺北市榮地町四丁目一九番地
富國徴兵臺北部事務所
主任 吳 電話 三八〇二番

臺北市本町二丁目二十六番地
株式會社 **高砂商店**
電話 弐九六弐番
弐七参弐番

士林街福德洋二三二
臺灣製紙株式會社
電話 二七六一番
士林工場
電話 二〇三八番

臺灣煙草賣捌組合 **臺北支部員一同**

日產化學工業株式會社
日本毛織株式會社
帝國製麻株式會社
關西ペイント株式會社
中外加工品株式會社
日本火藥製造株式會社
臺南製麻株式會社
東洋木材防腐株式會社
日本海上保險株式會社
日產海上保險株式會社
代理店 盛進商行
株式會社
臺北市本町二丁目二番地

臺北市榮町二丁目
國 **盛進商行茶舖**
電話 四七五七六番

東邦拓殖株式會社
東邦拓殖厦門支店
社長 中村敬市郎
支店長 中村勉
電話代表 八九番

株式會社 **菊元商行**
臺北市太平町三
菊元商行卸部
臺北市榮町
菊元百貨店
臺北市太平町二
菊元販賣店
高雄市銀座
菊元高雄販賣店

石鹸油脂藥品
東光 **東光株式會社**
本社 臺北市綠町三丁目
工場 臺北市綠町四丁目
出張所 大阪市西區京町堀通一丁目
支店 臺南市港町一丁目

酸素 **東光興業株式會社**
本社 臺北市綠町三丁目
工場 高雄市前金町

臺北市內 **著名醫院案內** (順序不同)

內科 築地町二丁目五番地
吉田醫院
電四八五三番 寓電四五四八番

小兒科 內科 榮町三丁目・電話弐六四八番七二四五番
入院室完備・醫學博士 大礒友明
大礒病院

內科 榮町一丁目八新公園裏
松山醫院
電話四五四〇番

眼科 榮町一丁目一八番 電話四三番 鐵道七號踏切
塚原眼科醫院
入院隨意 醫學博士 塚原義夫

小兒科 京町一丁目五二番地
関屋醫院
入院隨意 電話三六七二番

產婦人科 京町二丁目宝通り
鶴田醫院
入院應需 電話四一九七番

外科 肛門病科 本町二丁目一番地
前沼醫院
入院應需 電話二九五四番

外科 肛門病科 X線科 本町二丁目宝通り 電話弐弐六番
病室完備 醫學博士 **前野醫院** 前野哲夫

耳鼻科 咽喉科 本町二丁目一番地
入院完備・院長醫學博士 宮島晴
宮島醫院

皮膚科 花柳病科 泌尿器科 表町二丁目二一番地(宝通り)
入院應需 電話四八五五番
三熊丸醫院

小兒科 表町二丁目三(中垣隣り)
入院隨意 電話四八五九番
武藤醫院

口腔外科 臺北市京町二丁目二十四番地
杉山齒科醫院
電話三七七二番

口腔外科 レントゲン科 臺北市京町二(春日通)野村銀行横通り
電話七五六番 道野次郎
道野齒科醫院

齒科 榮町二丁目台銀東通(派出所前)
青木齒科醫院
電話六七九五番

科學の小窓

甲斐の山奥に室町時代の殿堂

五百年を經た安産觀音堂

文部省嘱託　工學士　澤島英太郎

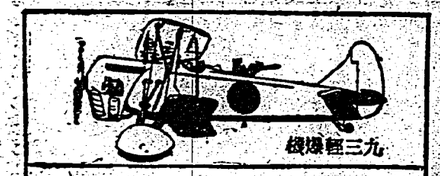
文部當局の調査に行くまでは、やがて廢棄處分になるものと思つてゐたが、やがて國寶級に指定されるかも知れないと聞いて、調査に行くといつて留守居ちがら、其結果、保護施設を講じて

成行き任せの英國の正體

―消極的な抵抗なら根強い―

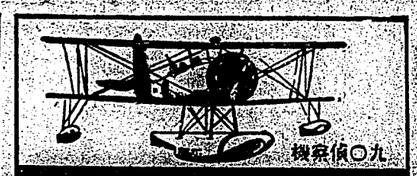
十住大なる苦悶――

ネヴィル・チェムバレン氏がヒトラーやムッソリーニ、ペルリンが至ローマからロンドンを來訪する人々は先づ第一に、一體英國と言ふ國はどこまで強いのかと言ふ事が彼ソヴィエト露西亞には理解されないと共産主義、階級が無いイタリア王國にはナチズムが必要として支配してゐるからと云ふ程度知識ではまだ理解ではない。殊に英國に於ける自由の限度の所在なるが故に彼等には解しかねるのである。モーロー・ロッカーやマッセンジャーの如き社會主義者の存在が許されるばかりか、ブロー



日本一の黒紋附は
丸重染・小町染
京都
紅

全國著名百貨店及び有力呉服店に御用命下さい



優秀無比
日章カーボン紙
日章印の慰問品
スメラマン固形インキ
便箋
複寫帳
簿記
横綱クレヨン
各府県育英会館採用
大阪 日本ノート學用品株式會社 東京

賞懸
無敵
海陸荒驚

各廣告上部の海陸荒驚は、世界に誇る吾等の無敵精鋭機でありますが、海陸夫々異つた點がありますから、(尾部に共通の特色があります)よく御覧の上□□商品は海軍機、△△商品は陸軍機と云ふ樣に夫々記載して下記應募規定により御解答下さい
正解者多數の際は嚴正なる抽籤により賞品を贈呈いたします。

問題

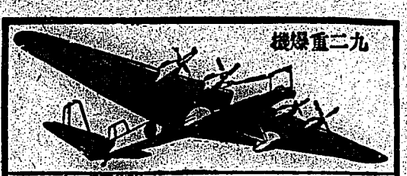
海軍機　九〇水上偵察機・九四水上偵察機・九一双發飛行艇・九〇三發飛行艇・九五複翼戰闘機・九四複翼輕爆機・九六艦雷型攻撃機　陸軍機　八八複翼偵察機・九二單翼偵察機・九四複翼偵察機・九六單翼戰闘機・九五單翼戰闘機・九二四發重爆撃機・九三双發重爆撃機・九三双發輕爆撃機・九三輕爆撃機

賞品

一等　シャープ受信機
二等　クローム側腕時計
三等　セーラー高級萬年筆(ポントインキ付)
四等　週刊朝日　二百名
三等　三十名
五等　一名

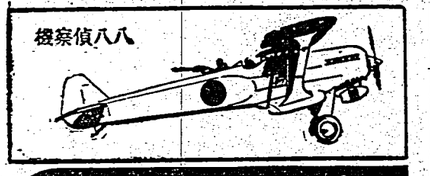
應募規定

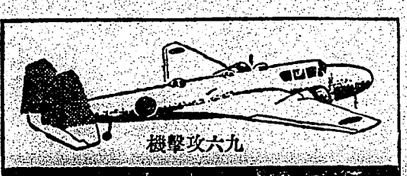
一、用紙　官製ハガキ一本廣告御覽の新聞名記載の事
一、〆切日　一月十日(同日付消印にて一週間以内に到着分有効)
一、宛名　大阪市東區瓦町三丁目　旭廣告株式會社懸賞係
一、發表　二月上旬本紙上
一、賞品發送　發表と同時(但四等氏名は賞品發送後以て發表に代へます)

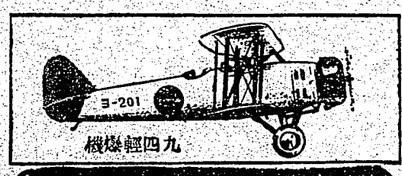


超多級式
机上の荒驚
ドンコ帳簿

多い當い 掛金 廉配
個性と型大數各
日賦



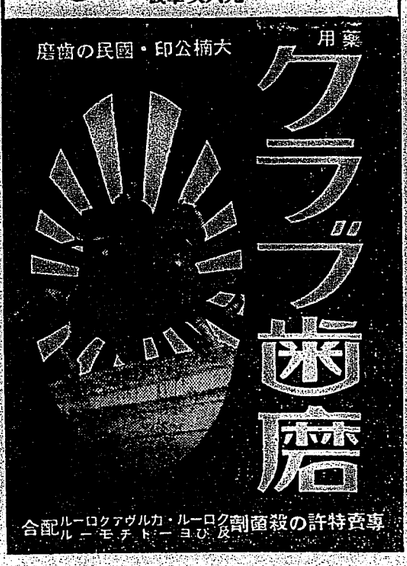




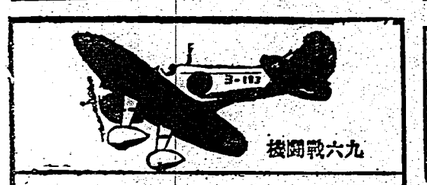
須丹 齒ブラシ
本品こそ必ず
御期待以上の強さ
數倍の耐久力
比類なき經濟
眞價を發揮する
最高基準品！
須丹

薬用 アルボース石鹸

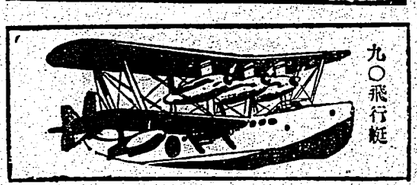
赤ちゃんも御婦人も殿方も非常時下のお肌の護りはアルボース石鹸
皮膚の健康美はこれ一品で完璧



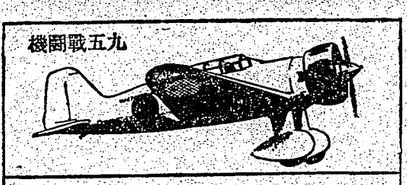
クラブ歯磨
齒の民國・印公楠大　藥用
專賣特許　合配ルーロクァヴルカ・ルーロク劑菌殺の許特
ルーモチトーヨび及



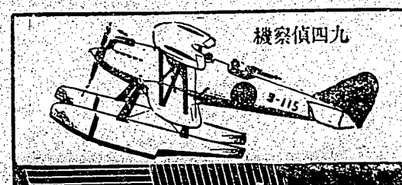
容威此るた々堂よ見
成構此るな巧精
(意注御りあ物せに)
強靭にして輕快なる事
皇軍戰車の如し
是ぞ我社の誇り
!!也號スユービ
ゴム車と共部分品在庫豊富
ユービスゴムス車發元賣
大阪市淀川區十三本町一丁目
電話(三〇五三)(六二七七)
明輪商會



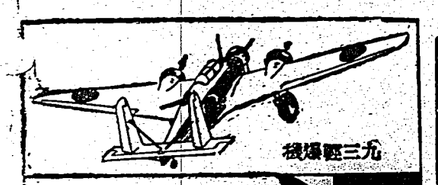
Shaip
シャープ
受信機
早川金屬工業株式會社

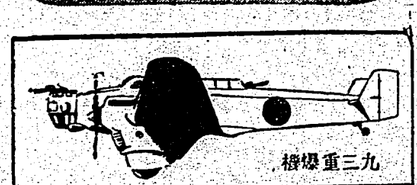


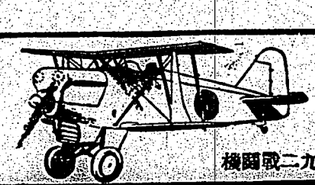
輕合金/黃金時代！
アルミニウム合金…
マグネシウム合金…
各種 **ダイキヤスト鑄物**
アルミニウム・鋳鉄・鋳鋼・真鍮・砲金 壓縮鑄物
鑄造工作
登錄 MAC 商標
牧野輕合金製作所
大阪市西淀川區姫島町
電話福島(45)2044 2498 0622

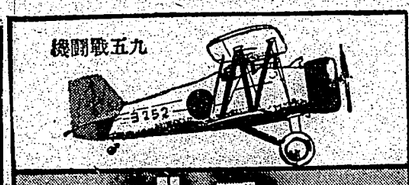


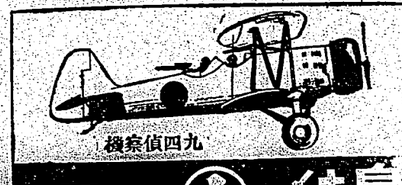
産額東洋一
ライオン
日本油脂株式會社











ヒロナール
中毒に
耐難き禁斷狀症の苦痛を緩解し
生成せられる異狀物質の排泄を促す從つて常用麻痺藥の慾求量を減じ、他方中毒に原因せる隨伴症狀を好轉せしめ、以てその中毒症狀を治癒せしむにあり
(未使用者乞試用)
適應症　モルヒネ並に同類似麻痺藥慢性中毒症
大阪道修町
發賣元　株式會社田邊商店
製造元　服天堂醫化學研究所

ジョピタン
大阪 原田商店

統制強化時代は
大阪の本場で現金仕入
綿布、人絹、スフ
生地加工物各種
內地部、直輸出
BBB TRADE MARK
ゴム靴と革靴
青年靴　學生運動靴
兒童靴　勞働靴
代用長靴　其他
株式會社 桑原商店
大阪市東區南本町一丁目

最高の貴
ポントインキ
萬年筆用
ポントン
海外でも使んにもてはやさる、

結婚は3限に印
學生結婚は學生履に限る
新本天
美しく
一ばん強い
學生履
三台保証
大阪市旭區赤川町
發売元　八十八商店

一月特別号 特大七十二頁 読物プレゼント

全部書下ろし！ 作家の自筆原稿！

オール諧物王手箱
お馴染漫画人物自敍傳集

天柴漂北・郎戸木殻灰
一勝島樺・険冒のんやち正
翌 生麻・シサウトナキンノ
帆千川前・んさ熊いのもてわあ
天四川下・んさ巌のめもや男
泡水河田・話のろくらの
一隆山横・ンヤチクフの子養

作憲越瀬・碁圓
雄熊崎大・棋将

懸賞小說 旅枕 一等當選 鄭問部

その清き美以来の大家のぬを引き継ぎ文壇の新星が堂々と青春を描く

月と三吃星

諧謔小說 小栗虫太郎

新春お笑ひ寄席

出席者
講談家 小山内龍
落語家 川原久仁か
ユーモア作家 玉川一郎
釣の有名人 佐藤垢石
天下の四笑人が秘傳無盡の爆笑談！

匿名の手紙 一番乗りニチエン 信話のうりおもて賴

釣りの讀本(しかけ指南つり場案内) 井草光一

戰友 軍旗の微笑

松村益二

東京見物 寄席聽いたまゝ

車谷弘

旅行隨筆 秋田山形への旅

石黒敬七

強制手帳 黃金の言葉

田鶴濱弘

明朝小說 立體寫眞器

矢田部新

諧謔小說 お辨當とお嬢さん

乾信一郎

山窟語彙 生き斬りお作

三角寛

探偵小說 寢言レコード

鄭郁二郎

戀愛小說 燈臺日記

大江賢次

映畫物語書 風(ハリケーン)

中西一夫

戰爭挿話 饅頭部隊

鹽谷園四郎

短篇小說 汽車の人生

中里喜次郎

長形平次 凧笛供養

野村胡堂

★花形力士の橫顏

面白いぞ此事所は！ 中盛り人の力鈴木彦次郎

人情小說 滝の音

竹田敏彦

現代小說 制服

山口松太郎

流行作家の彼が今なほ忘れ得ぬ情慾の制服姿

戀愛小說 夢を見し

片岡鐵兵

端倪すべからざる現代女性と中年男子の秘圍

神風連風神傳

明治讀本 菊池寛

日記が語る 記念の一日

白衣生活のある結婚日記 櫻井忠温
僕英國都滞在の一年 安野草城
京初葬式 日吉座 安井勇雄
西結婚 日村花子
訪問 岡本文平
めぐり合ひ 露柳原燕生子
特輯隨筆「鳥と動物」
◇◇山羊と鳩と鸚鵡 辻永
◇◇小山村動物記 長尾宏也
◇◇雉子鳥の闘爭 高間惣七
◇◇雉子笛を吹く 山下繁雄

文藝春秋社發行
東京市麹町區内幸町 振替東京一七六〇三番
送料四銭

劑壯強いし正・むのでん喜の供子

ンミタリポ

(劑合綜Bンミタビ・酸ノミア)

今年も元氣で
通學しませう
つよい子 元気な子
みんな ポリタミン組

呼吸器が弱い 微熱がつゞく、盜汗をかく、頸部にぐり〳〵がある……と云つた体質の子供をそのまゝにして置きますと、やがて結核に斃されることになります。が、小兒結核は大人の場合と異つて、早期に處置しますと、比較的はやく恢復するものですから、こんな子供には速に強壯法を講ずべきです。

強壯劑として 一番よいのは榮養價の大なること、胃腸にも有効なこと、のみ易いこと…の三拍子揃つたもので、この條件に合致したのはポリタミンです。即ち、本劑は榮養價に富む「牛乳蛋白」を消化して得た貴重榮養源アミノ酸に、ビタミンBを配して効果の完璧を期した甘美味の製劑です。

胃腸が弱くて 肉や卵等を食べても十分消化されないやうな場合にも、ポリタミンですと(その主成分が既に消化濟みのアミノ酸ですから)、そのまゝ吸收されて榮養となり、また食慾をすゝめ胃腸を丈夫にしますから、相俟つて体重を增し、血色をよくします。その上、アミノ酸には細胞を賦活して全身の抵抗力を强める獨特の作用があります。

感冒に備へよ 腺病質の子供は感冒に罹り易いだけでなく、感冒から結核や肺炎を惹起す危險が多いから親達としても特に注意すべきです。含嗽をさせるとか防寒法を講ずることも結構ですが、積極的に榮養を充實して、からだの抵抗力を强めることが肝要で、ポリタミンはこれに恰適の强壯劑です。

小瓶(一四五錢)
中瓶(二四五〇錢)
大瓶(四四五〇錢)
各地藥店、百貨店、食品店にあり

發賣元 大阪市道修町 株式會社 武田長兵衛商店
關東代理店 東京市本町 株式會社 小西新兵衛商店
製造元 大阪市淡上區 武田榮養化學株式會社

登發田武

39(1)39

護國の社頭に新春の黎明

東亞新建設のスタートを切る昭和十四年の春を迎へ明治神宮、靖國神社は未曾有の參詣者數を築き上げた、寫眞(上)は明治神宮(下)は靖國神社の參拜者

待望の巨星遂に出馬！

記者團の質問攻めに やんわりの手で對陣

大命降下した夜の平沼男

【東京五日發同盟】事務當局より來る十一日發表の筈の新内閣の顔ぶれは、五日午後に入つても尚ほ決定を見ず、從つて發表は十一日に延期されるものと見られるに至つた、これは平沼男が大命を拜するや直ちに内閣組織に關する諸般の準備に着手したが、豫想外に難航を續けてゐるためで、平沼男は五日午後三時半から首相官邸に於て、有田外相、末次内相、吉田海相、板垣陸相、石渡藏相、小林商工相、内田拓相、松岡逓相、木戸内務次官、原枢密院書記官長、富田内閣書記官長、風見内閣書記官長等と會見、更に午後五

戰時下活躍の女性 (下)

世紀の感激をペンに打込んで

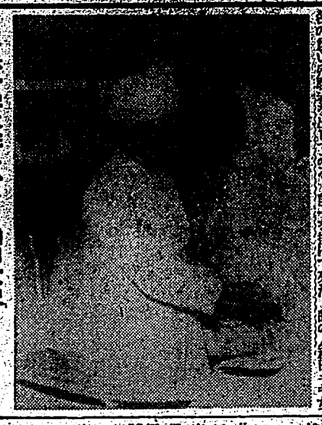
林芙美子女史の從軍

橋口に殺到した時、そのあまりに多數の負傷兵の悲慘に、銃後の我々は瞬間言葉もなく唯立ち盡すばかりであつた。

そして、更におどろいたのは、林芙美子女史と一緒に漢口一番乘りを果したことであつた「犬したな女」と罵いたのは戰後の者ばかりでなく、彼女がついて行つた部隊の兵隊も、心ゆくまで戰ひしばつて戰闘の御褒美にと、漢口入城に際して、國家的慰安婦の特別配給をうけ、しかも彼女と落伍もしないで一緒に漢口に突入した彼女の姿に「女でもこれだけ出來るのだ」と感歎し、中には泣いて喜んだ兵隊さんもあつた。そのために銃後の女性全部に與うる兵隊さんの大きな信賴と感謝とを出ところで、前線にある皇軍將士の勇ましい活躍についての今更の感激をかくまでもあらねばならぬ。

大陸にわたつた白衣の天使○○人

赤十字本隊に於ける稻田女史



戰線のエンゼル、赤十字救護班の一員として、非常時女性の本領を發揮して、銃後の女性全部に與うる兵隊さんの大きな信賴と感謝とを出ところで、前線にある皇軍將士の勇ましい活躍についての今更の感激をかくまでもあらねばならぬ。

教へ子稻田婦女史の感慨

支那のお正月

(三)

北京にて　大塚生

二日の日は主人は朝友邸を招き、午後は自分の方へ來客を招き、四五人位の客が代る代る來る。四五人位の客の紙を折換へる紙の先に御を卷かれた火を点じるのである。それは自分の年數丈遊つて居間に置て、次々に火を点じるので家族の多い家には數百も並べ立てるやうだ。過去の惡習を捨て新に體を招き、又其の年中病氣缺勤等を避ける爲だと云ふ說明をしてくれた。

○

十一日には盛宴を催して仕事をすべて此の日は夜明すら起きて上

長期戰第三年

安成二郎

戰ひは長期といへど酒ばかり飲んでゐる譯にはゆかない。

○

北支から南支に御馳ひるがへる戰旗、正月をも知らぬ戰線の勇士たちに、せめてもの心ばかりの御慰問をと、國民各位の熱誠は、慰問袋の數にも現はれ、その數實に數百萬個を數へるといふ。

○

戰線の勇士たちは、この贈物の中に新しい年の希望を見出すであらう。

○

今年は、いよいよ長期戰の第三年に入る。

○

若し假りに今年一年の中百一生懸命に働いて、その上に更に一年を加へて、二年間働いたならば、果して支那は如何に成つて居たらう。事實は誰にもこの答へは出來ないが、國家的觀念、國民的覺悟の點から、正月の一年一回の休業は許されてゐても、支那戰線は然うはゆかない。だから支那人は正月元旦は勿論、年末の一年中は決して商賣は休ま